

《 各種基礎調査報告 》

## 1. 調査の目的と手法

### (1) 調査の目的

- 久喜市の特性を把握し、総合振興計画策定の基礎的な資料とすることを目的に、調査を行いました。

### (2) 調査の手法

#### ①久喜市の状況に大きく影響を与える外部環境（時代潮流）

- 現在の社会経済状況、国の政策、中長期的に予測される事項等について、政府の白書や、シンクタンクによる未来予測レポート等を参考に整理しました。特に、新型コロナウイルスの影響で大きく時代が変化している中、「ポストコロナ時代」を見据えた時代潮流の把握に注力を置きました。

#### ②統計分析

- 人口減少と高齢化の抑制、移住・定住の促進等を念頭に置き、戦略的にデータの種類を選定しました。また、比較都市については、移住・定住の促進に着目した以下の考え方により3つのグループに分け、それぞれの平均値と久喜市の値を比較しました。なお、参考として埼玉県内63市町村の平均値も記載しました（収集可能なデータのみ）。

【近隣市】県南部や東京区部から移住先を選ぶ際、条件が類似する近隣市と比較することで、久喜市の強み・弱みを把握し、差別化を図る。

【県南部】現在、東京区部から多くの若い世代が移住し、人口増加傾向の地域である。また、結婚・出産・住宅購入等の機会に、これらの地域から、さらに都心から離れた地域へ移住する傾向も見られるため、郊外へのさらなる移住が期待される地域である。

【東京区部】人口規模が大きく、東京都北部に位置し、多くの若い世代における埼玉県への転入可能性が期待できる地域である。

#### 比較都市一覧

近隣市	県南部	東京区部
加須市	戸田市	練馬区
北本市	朝霞市	板橋区
幸手市	志木市	北区
白岡市	和光市	足立区
蓮田市	新座市	
鴻巣市		
桶川市		

## 2. 調査結果概要

### (1) 「ポストコロナ時代」を見据えた時代潮流の把握

#### 《人口構造の変化》

- 少子高齢化・人口減少に対し、東京一極集中の是正や、子どもを産み育てやすい環境の整備に関する多様な取組が進むも、さらなる強化が必要。
- 一方で、新型コロナウイルスにより新たな潮流の兆しがある。リモートワークの拡大による居住地選択の自由度拡大により、二地域居住や地方都市への注目が増す。
- 外国人人口や高齢者の労働人口の増加、交流人口、関係人口増加への取組などにより、人口構造に変化が見られる。

#### 《地方創生とまちづくり》

- 国は令和元年度に、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生は新たな段階へ。Society5.0やSDGs、多様な人材活用の視点などが加わる。
- 社会課題が複雑化する中、企業同士、企業と行政、NPOや地域団体、大学など、多様な主体が協働していくことが不可欠であり、事例も増えている。
- 新型コロナウイルスの影響により、基礎的コミュニティ（家族や地域社会等）への注目が改めて高まるとともに、ウイルス対策において基礎自治体への期待感が向上。

#### 《健康医療》

- 高齢化社会において医療費が増加する中、健康寿命の延伸、日常的ヘルスケアの重視、地域医療体制への期待感向上、福祉充実の必要性が高まる。感染症対策のための医療体制の整備が喫緊の課題。

#### 《教育》

- 変化の激しい時代に対応する生きる力をつけるため、主体的・対話的で深い学びを通じた教育を推進。GIGAスクール構想によるICTの活用も進む。
- 人生100年時代において、働きながら新たな知識・技能を習得するリカレント教育に注目が集まる。

#### 《男女共同参画社会》

- 男女格差の大きさを国別に比較した世界経済フォーラム（WEF）による「ジェンダーギャップ指数2021」では、日本は156か国中120位。男女共同参画社会の実現のため、主に政治・経済分野での格差是正が必要。

#### 《多様性への理解》

- 障がいの有無、年齢、人種、LGBT（性的少数者）など、多様な他者への理解促進と包摂性のある社会の構築が求められている。
- 在住外国人や外国をルーツとする住民が増える中、異文化理解から、共に暮らす住民としての多文化共生が重要になる。

#### 《コミュニケーション》

- 若年層を中心にした SNS の広がりにより、マスのなコミュニケーションから、個人の自由なコミュニケーションを可能にしているが、個人情報漏洩やフェイクニュースなど新たな問題も発生。
- 新型コロナウイルスの影響により、対面型コミュニケーションの減と非対面型コミュニケーションの増が加速し、新たなコミュニケーション方法が問われている。

#### 《SDGs》

- 2015 年に国際連合で採択された SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、日本社会においても浸透が進んでいる。2030 年の期限に向け、2020 年からは「行動の 10 年」が始まり、普及・浸透の段階から、行動・実践の段階へ。
- SDGs を推進する自治体を選定する「SDGs 未来都市」制度により、地方自治体でも取組が進む。

#### 《経済活動・働き方の変化》

- 利益至上主義から、社会や環境にも配慮した ESG/SDGs 経営など、企業の存在意義が問われている。産業構造の急激な変化するため、協働によるイノベーションの重要性が増している。
- 企業でのデジタル化やリモートワークの進展に伴い、ワーク・ライフ・バランス、業務プロセスの見直しなど、働く意義や組織の在り方などの根本的な変化も見られる。
- 消費のあり方も、大量消費から、エシカル消費、キャッシュレス利用、シェアリングエコノミーなどが若い世代を中心に広がる。

#### 《DX・AI》

- 国が提唱する Society5.0 は、経済、社会、医療、教育など、あらゆる分野でテクノロジーを活用するが、新型コロナウイルスの影響により、その必要性はさらに高まった。
- DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進は、企業や行政における業務効率化に留まらず、イノベーションや住民の利便性向上にも貢献する。
- 自動運転技術をはじめとして、地域全体を AI やビッグデータで相互連携して利便性・住民福祉を高めるスーパーシティ構想が進んでいる。

#### 《防災・防犯》

- 気候変動の影響が指数関数的に増加し、差し迫った自然災害が多発。他人事、未来の予測ではなく、自分事、現在の事象として捉える必要性が高まる。
- 東日本大震災から10年が経過し、改めて防災・減災に注目が高まる。国土強靱化によるハード面の対策と、自助・共助・公助、地域での備えソフト面からの対策が重要。
- 高度経済成長期に整備された多くの社会インフラ、公共施設が老朽化しており、適切な維持管理・更新が必要。
- 子どもや高齢者が巻き込まれる犯罪、サイバーテロやインターネットや SNS でのトラブル、特殊詐欺など、新たな種類の犯罪への対策が必要。

#### 《環境に対する行動、価値観の変化》

- 2050年カーボンニュートラル宣言により、脱炭素社会の進展が加速。EV、脱プラスチックなど生活全般で再生可能エネルギーや環境配慮が進む。
- 消費者の価値観、企業の存在価値も変容している。ESG投資に見られるように、環境に配慮しない企業の価値は下がり、リスクがある。消費者においても、レジ袋有料化、食品ロス対策など、身近な生活から地球環境問題への関心が高まっている。

## (2) 統計分析

### ● 統計データ一覧

人口・人口動態	合計特殊出生率、自然増減率、社会増減率、年齢3区分別人口比率、後期高齢者比率、労働力率、女性労働力率
生活・住宅環境	日照時間、可住地人口密度、住宅地平均地価、納税義務者一人当たり所得、持家世帯比率、1住宅当たり延べ床面積、空家率、通勤時間（持家世帯）
医療・安全安心	1万人当たり病床数、1万人当たり医師数、平均寿命（男・女）、待機児童数、千人当たり刑法犯認知件数、千人当たり交通事故件数
産業・経済	従業者一人当たり製造業粗付加価値額、一人当たり小売業年間販売額、一人当たり大規模小売店舗面積
行政・財政	経常収支比率、実質公債費比率、一人当たり地方債残高

### ● 統計データの概要

#### 【人口・人口動態】

- ✓ 久喜市は、合計特殊出生率、自然増減率、社会増減率において、県南部や東京区部と比べると低い数値となっており、近隣市平均と同様の傾向を示している。
- ✓ なお、県南部は合計特殊出生率、自然増減率ともに最も高い。社会増減率も東京区部に次いで高い。人口3区分割合を見ると、“最も若い地域”となっている。
- ✓ また、東京区部は、合計特殊出生率と自然増減率が低いが、社会増減率が突出して高い。年少人口割合が低いわりには、生産年齢人口割合が高い。
- ✓ 久喜市は、県南部や東京区部と比べると労働力率が低いが、近隣市よりは若干高くなっている。女性労働力率においても同様の傾向である。

#### 【生活・住宅環境】

- ✓ 久喜市は、県南部や東京区部と比べると、日照時間が長く、可住地人口密度が低く、住宅地平均地価が安く、持家世帯比率が高く、1住宅当たり延べ床面積が広く、通勤時間（持家世帯）が短い。ゆったりとした住みやすい環境が揃っていると考えられる一方、これらの項目で近隣市平均と大きな差はない。
- ✓ 新型コロナウイルスの影響や働き方改革の推進などにより、地理的制約が少なくなり、居住地の選択肢が広がっている。そのため、住みやすさを重視して都心部から離れた地域への注目が集まっている。久喜市の生活・住宅環境の良さをアピールしながら、近隣市との差別化を図っていくことが重要である。

#### 【医療・安全安心】

- ✓ 久喜市は、1万人当たり病床数・医師数において近隣市や県南部と同等かそれ以上の水準にある。東京区部が最も充実している。
- ✓ 久喜市は、待機児童数が2021年のデータでは0人である。県南部や東京区部は20人以上であり、近隣市は少ない水準にある（※待機児童数は単年で大きな変動があることに留意が必要）。
- ✓ 久喜市は、千人当たり刑法犯認知数や交通事故件数において最も数値が高い。
- ✓ 高齢化の加速化、また最近では新型コロナウイルスの影響により、改めて地域な医療体制の重要性が認知されている。久喜市の医療は比較的充実しており、強みとなりうる。
- ✓ 一方、刑法犯認知数や交通事故件数などの安全面は、対外的なまちのイメージに大きく影響する傾向がある。対外的なPRのためにも、改善の必要がある。

#### 【産業・経済】

- ✓ 久喜市は、近隣市と並び、従業者一人当たり製造業粗付加価値額が高い。また、大型ショッピングモールが多くある影響から、一人当たり小売業年間販売額及び大規模小売店舗面積で突出している。
- ✓ 大型ショッピングモールのような突出した特徴があることは、対外的なPRにも大いに活用できる。一方、新型コロナウイルスの影響やオンラインショッピングの増加などにより、小売業の動向は不透明であるため、注視していく必要がある。

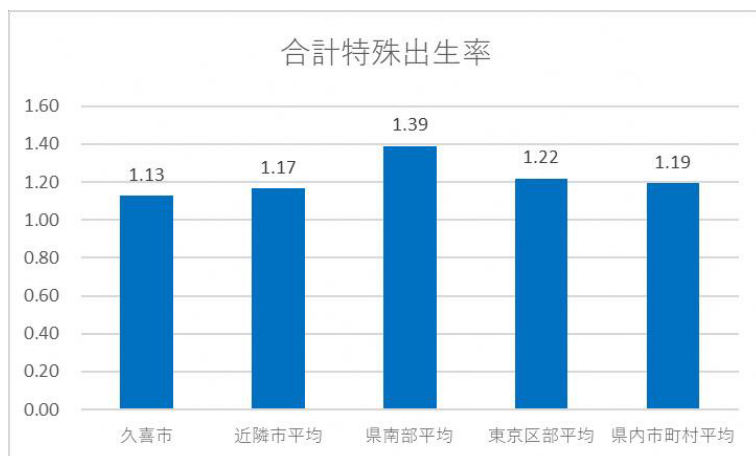
#### 【行政・財政】

- ✓ 久喜市は、経常収支比率（自治体の経常的な経費に、経常的な収入がどの程度充当されているかを示し、この比率が低いほど独自事業に多くの費用が使える）や、実質公債費率（実質的な借金返済額（公債）が財政規模に占める割合）、一人当たり地方債残高が対象都市と比べると高く、財政の硬直化が進んでいる。
- ✓ 少子高齢化による扶助費の増加に加え、新型コロナウイルスの経済へ影響により、さらに税収が減少することが予想される。ふるさと納税などによる多様な税収の方法の検討が必要となる。

- 次ページ以降に各データのグラフを記載します。

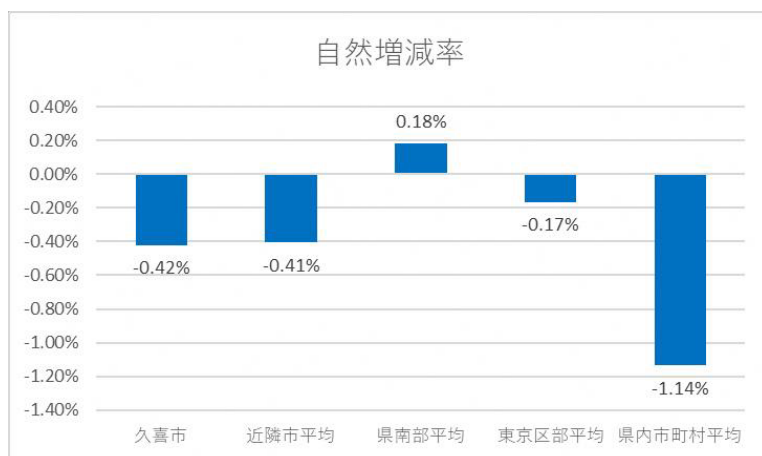
## 【人口・人口動態】

合計特殊出生率（厚生労働省「人口動態統計」、2015～2019年の平均）



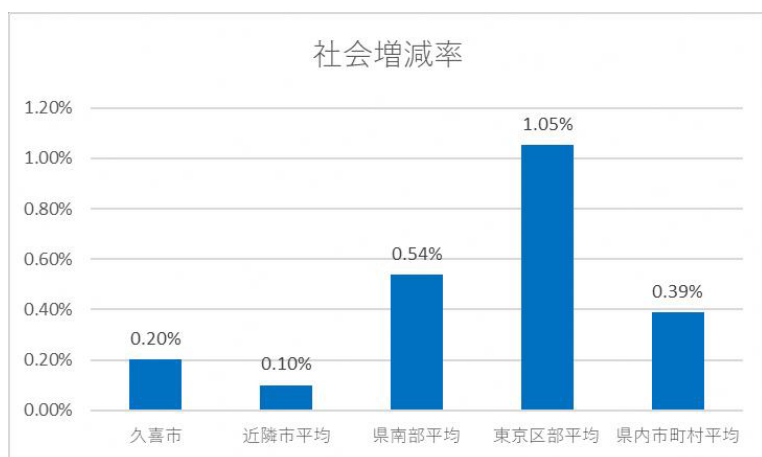
久喜市は、近隣市に次いで合計特殊出生率が低く、1.13である。県南部が最も高く1.39である。

自然増減率（総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、2016年と2018年の比較）



久喜市は、自然増減率が低く、-0.42%となっている。唯一の自然増は県南部の0.18%である。

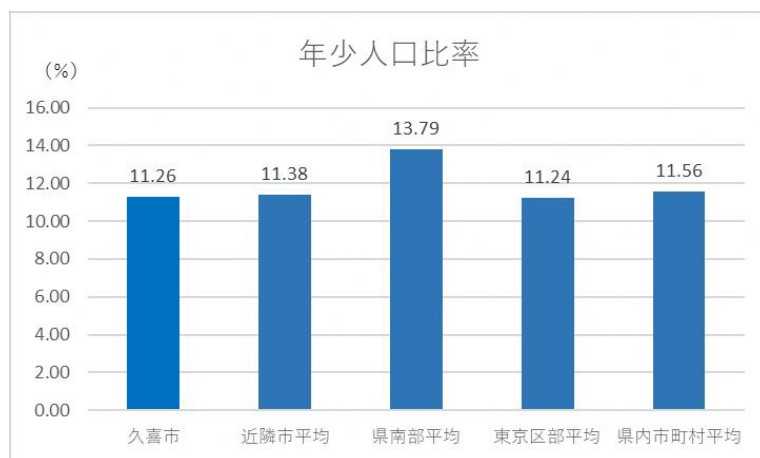
社会増減率（総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、2016年と2018年の比較）



久喜市の社会増減率は、近隣市に次いで低く、0.20%である。東京区部が突出して高く、1.05%である。

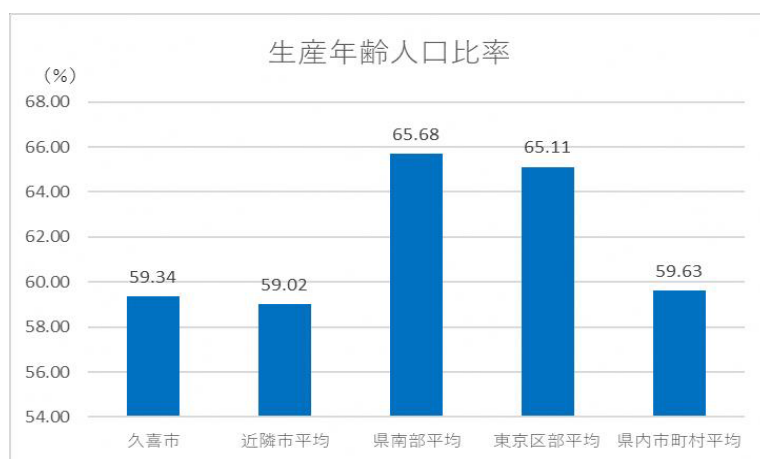


年少人口比率（総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、2019年）



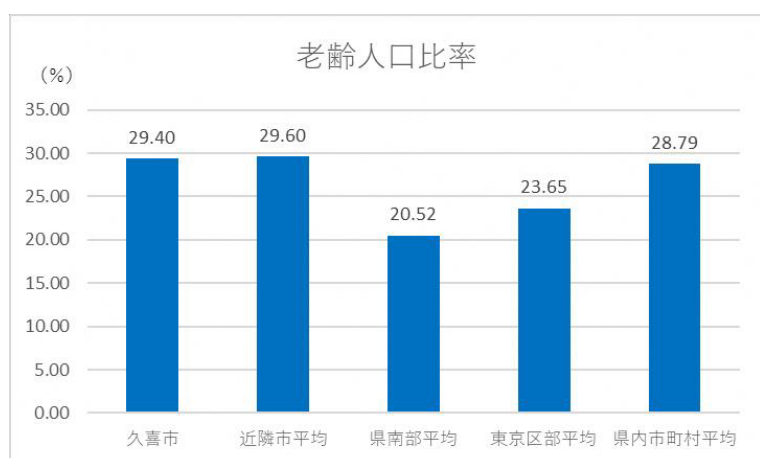
久喜市の年少人口比率は、東京区部に次いで低く、11.26%である。最も高いのは県南部の13.79%である。

生産年齢人口比率（総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、2019年）



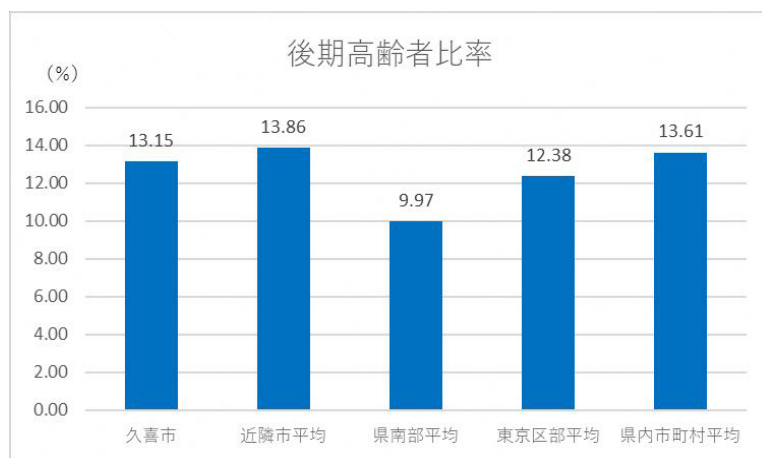
久喜市の生産年齢人口比率は、近隣市に次いで低く、59.34%である。最も高いのは県南部の65.68%である。

高齢人口比率（総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、2019年）



久喜市の高齢人口比率は、近隣市に次いで高く、29.40%である。最も低いのは県南部の20.52%である。

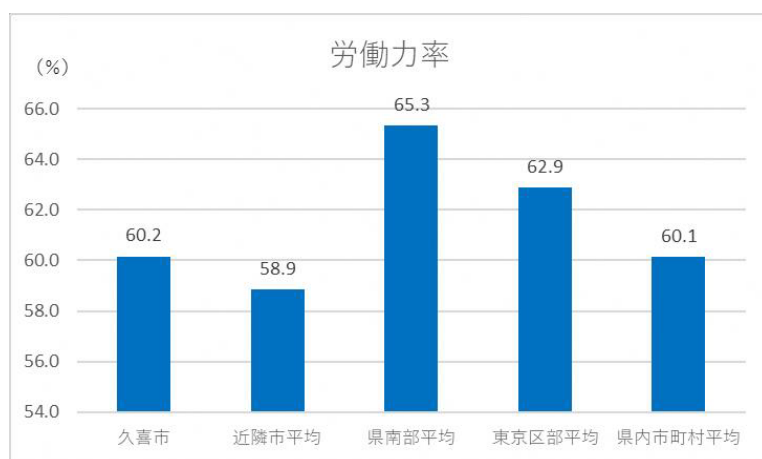
後期高齢者比率（総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、2019年）



久喜市の後期高齢者比率は、近隣市に次いで高く、13.15%である。最も低いのは県南部の9.97%である。

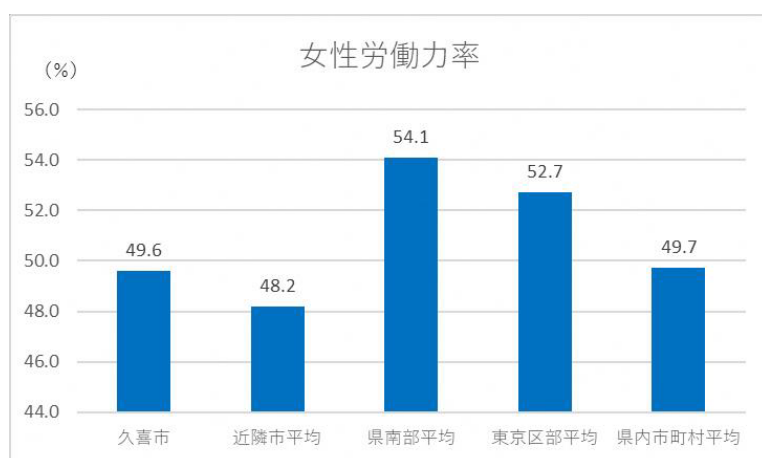
人口構成比を見ると、県南部が最も若く、次いで東京区部、続いて久喜市と近隣市がほぼ同様である。

労働力率（総務省統計局「国勢調査」、2015年）



久喜市の労働力率は、近隣市に次いで低く、60.2%である。最も高いのは県南部の65.3%である。

女性労働力率（総務省統計局「国勢調査」、2015年）

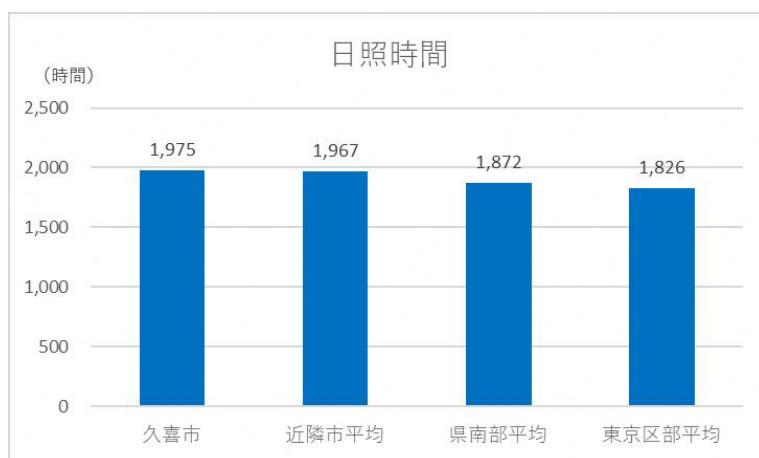


久喜市の女性労働力率は、近隣市に次いで低く、49.6%である。最も高いのは県南部の54.1%である。

全体の労働力率と同様の傾向を示している。

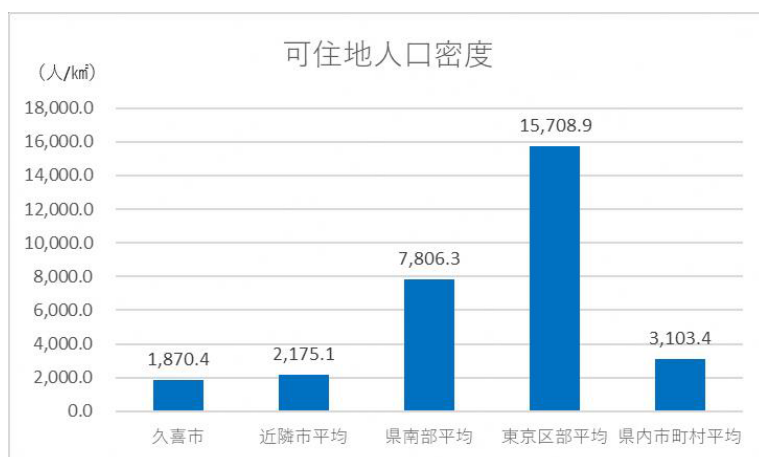
## 【生活・住宅環境】

日照時間（気象庁「メッシュ平年値データ」、1981～2010年）



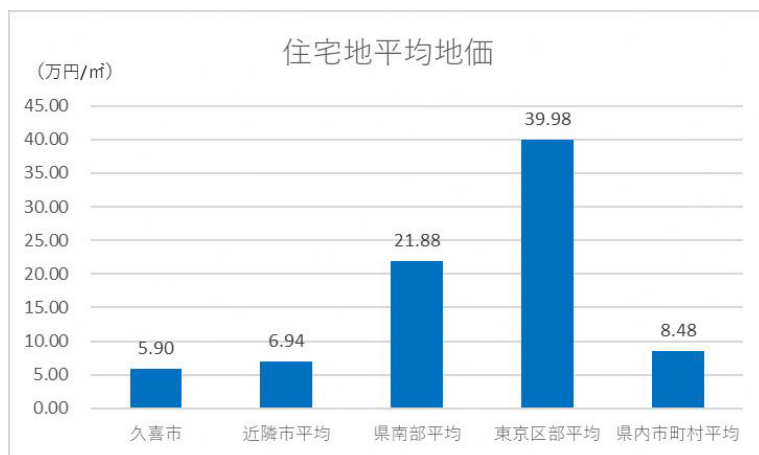
久喜市は、近隣市と同様に日照時間が長く、県南部や東京区部と大きな差はない。

可住地人口密度（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調べ」、農林水産省「農林業センサス」より算出、2019年）



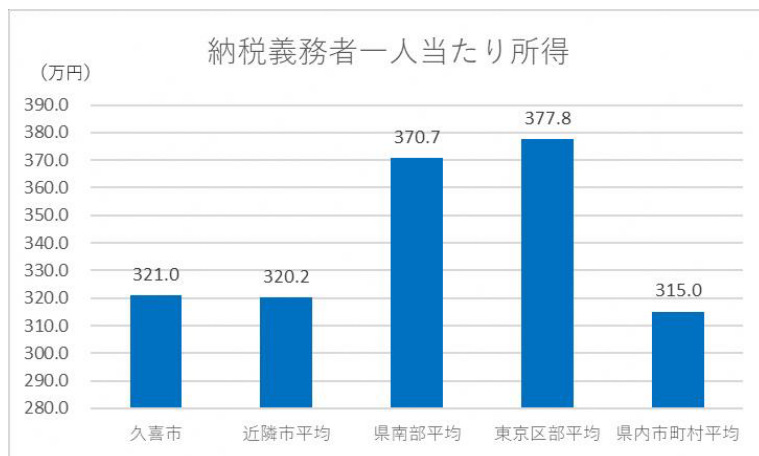
久喜市の可住地人口密度は、最も低く、1,870.4人/km<sup>2</sup>である。東京区部が突出して高く、15,708.9人/km<sup>2</sup>である。

住宅地平均地価（国土交通省「都道府県地価調査」、2019年）



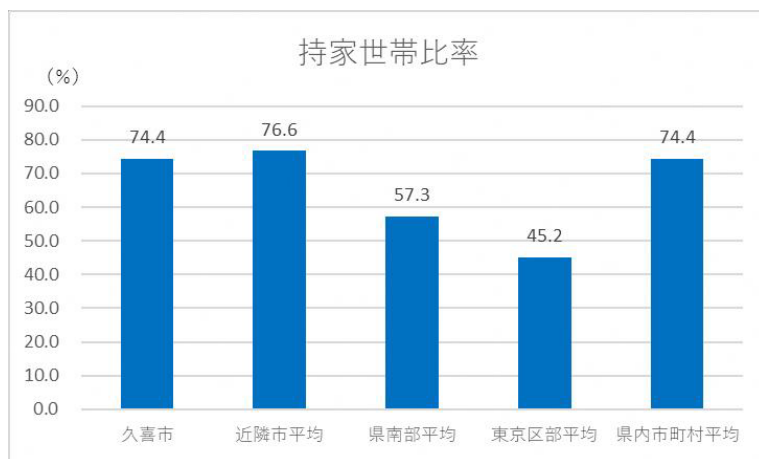
久喜市の住宅地平均地価は、最も低く、5.90万円/m<sup>2</sup>である。東京区部は突出して高く、39.98万円/m<sup>2</sup>である。

納税義務者一人当たり所得（総務省「市町村税課税状況等の調」、2018年）



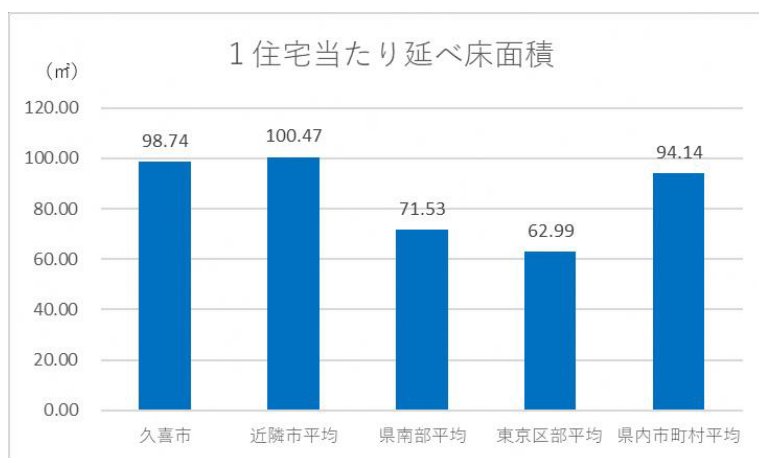
久喜市の納税義務者一人当たり所得は、ほぼ近隣市と同様で 321.0 万円である。県南部や東京区部と比べると約 50 万円低い。

持家世帯比率（総務省統計局「国勢調査」、2015年）



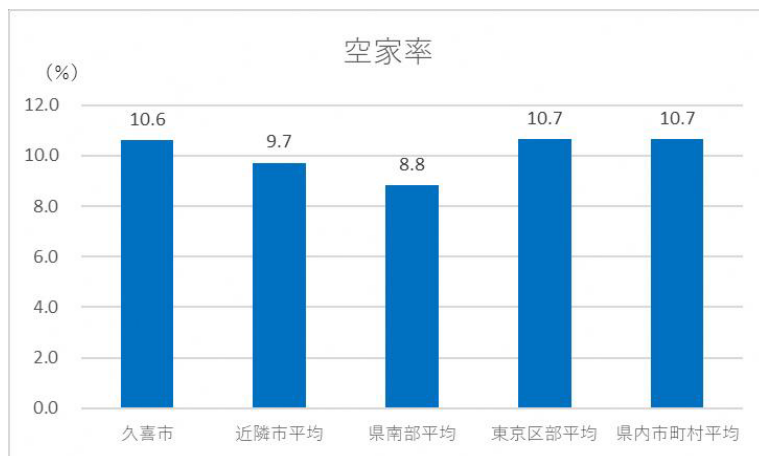
久喜市の持家世帯比率は、近隣市に次いで高く、74.4%である。東京区部が最も低く、45.2%である。

1 住宅当たり延べ床面積（総務省統計局「住宅・土地統計調査」、2018年）



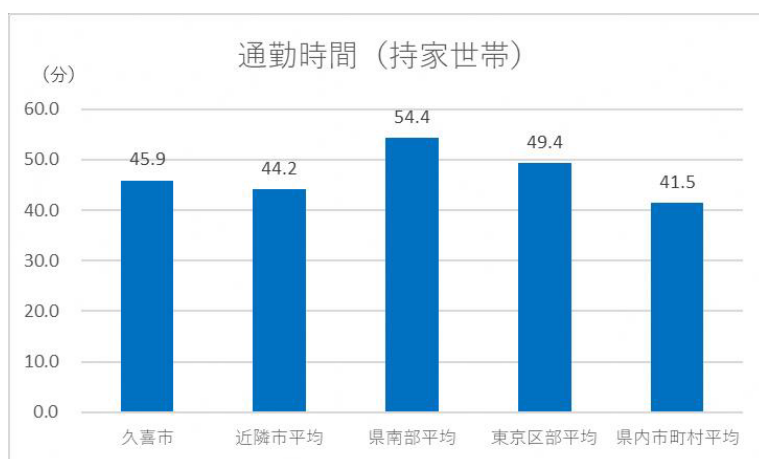
久喜市の1住宅当たり延べ床面積は、近隣市に次いで広く、98.74 m<sup>2</sup>である。東京区部が最も狭く、62.99 m<sup>2</sup>である。持家世帯比率と同様の傾向が見られる。

空家率（総務省統計局「住宅・土地統計調査」、2018年）



久喜市の空家率は、東京区部に次いで高く、10.6%である。最も低いのは県南部で、8.8%である。

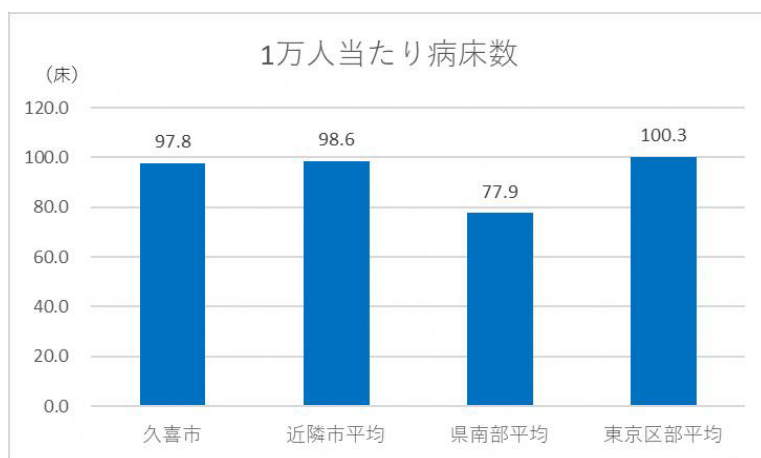
通勤時間（持家世帯）（総務省統計局「住宅・土地統計調査」、2018年）



久喜市の通勤時間（持家世帯）は、近隣市に次いで短く、45.9分である。最も長いのは県南部で、54.4分である。

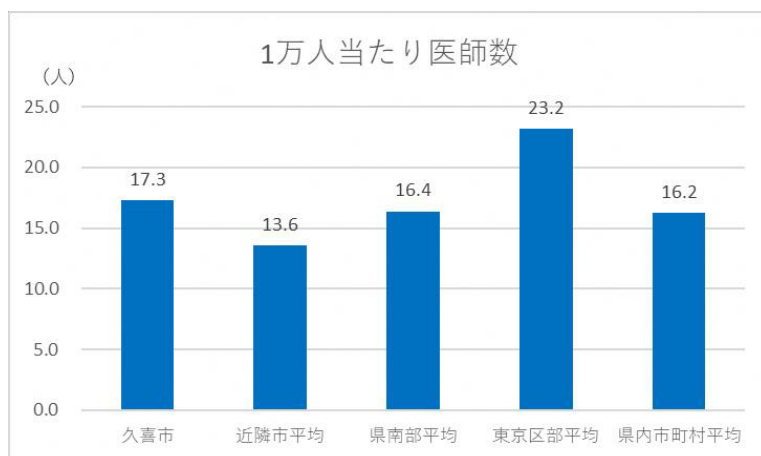
## 【医療・安全安心】

1万人当たり病床数（厚生労働省「医療施設調査」、2018年）



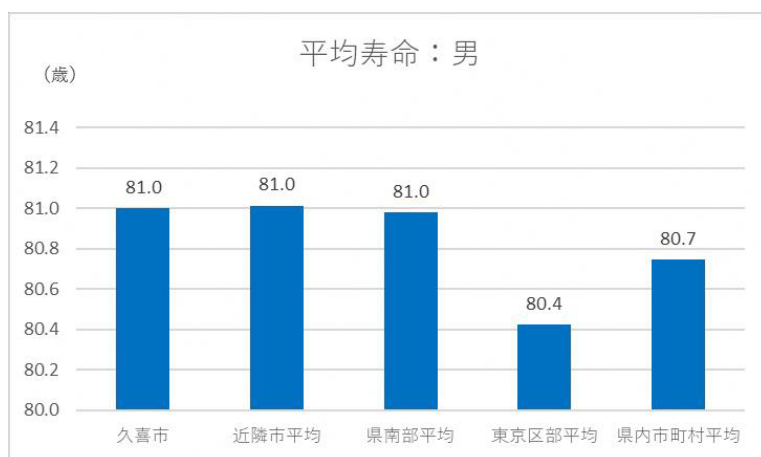
久喜市の1万人当たり病床数は、東京区部や近隣市とほぼ同等で、97.8床である。県南部は77.9床と少ない。

1万人当たり医師数（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、2018年）



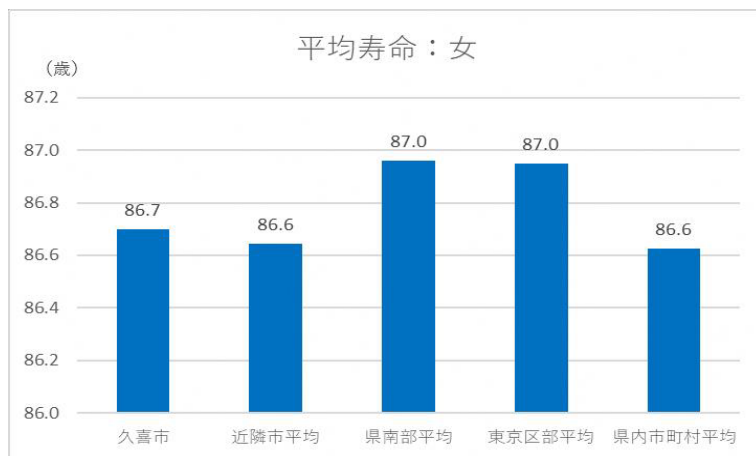
久喜市の1万人当たり医師数は、東京区部に次いで多く、17.3人である。近隣市は13.6人と、差が大きい。

平均寿命（男）（厚生労働省「市区町村別生命表」、2015年）



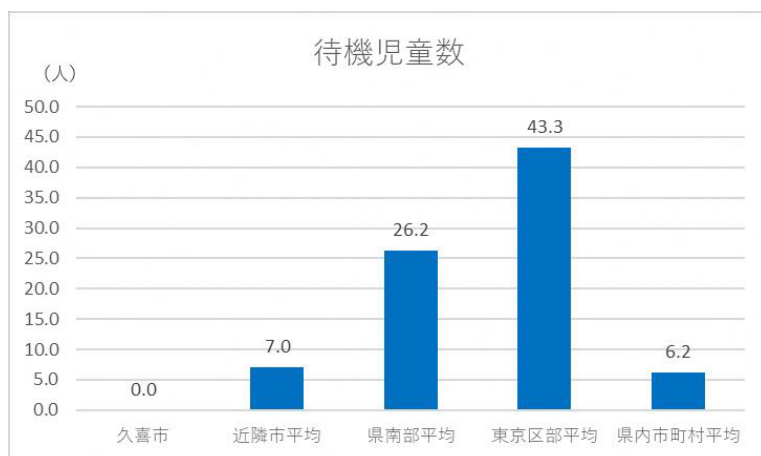
久喜市の平均寿命（男）は、81.0歳であり、他都市と大きな差はない。

平均寿命（女）（厚生労働省「市区町村別生命表」、2015年）



久喜市の平均寿命（女）は、86.7歳であり、他都市と大きな差はない。

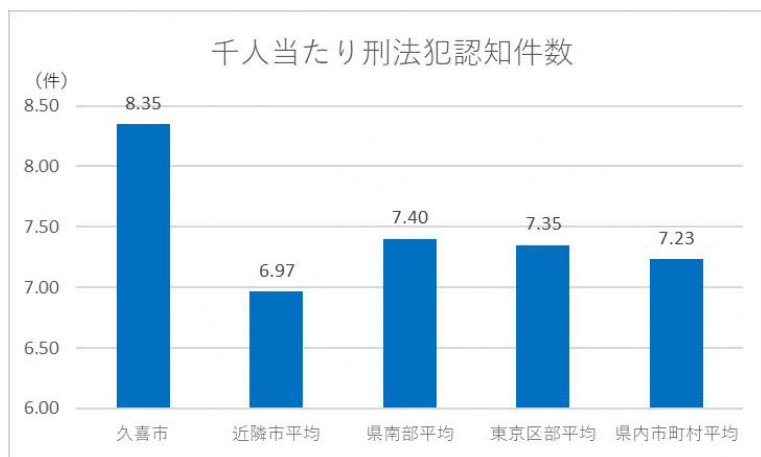
待機児童数（埼玉県内のデータ：埼玉県福祉部少子政策課、2021年4月1日時点。東京区部のデータ：東京都福祉保健局少子社会対策部保育支援課、2020年4月1日時点。）



久喜市の待機児童数は、2021年データで0人である。東京区部が最も多く43.3人、次いで県南部が26.2人である。

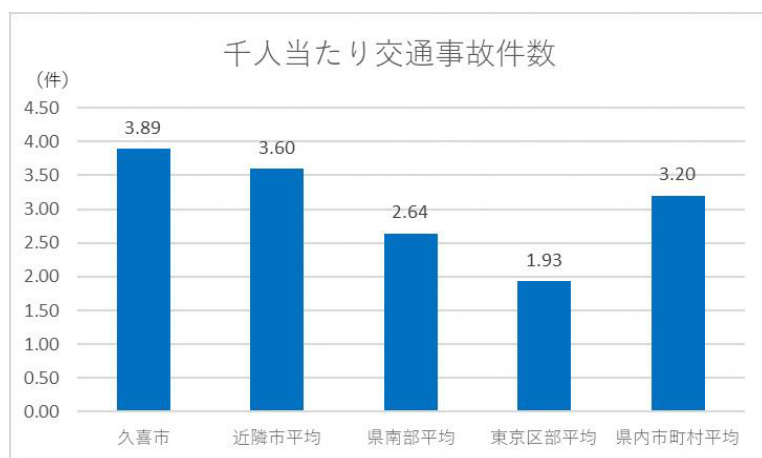
（※待機児童数は単年で大きな変動があることに留意が必要。）

千人当たり刑法犯認知件数（埼玉県警・警視庁、2018年）



久喜市は、千人当たり刑法犯認知件数が最も多く、8.35件である。近隣市が最も少なく、6.97件である。

千人当たり交通事故件数（交通事故総合分析センター「全国市区町村別事故件数・死者・負傷者数」、埼玉県警察「交通事故統計」、2018年）

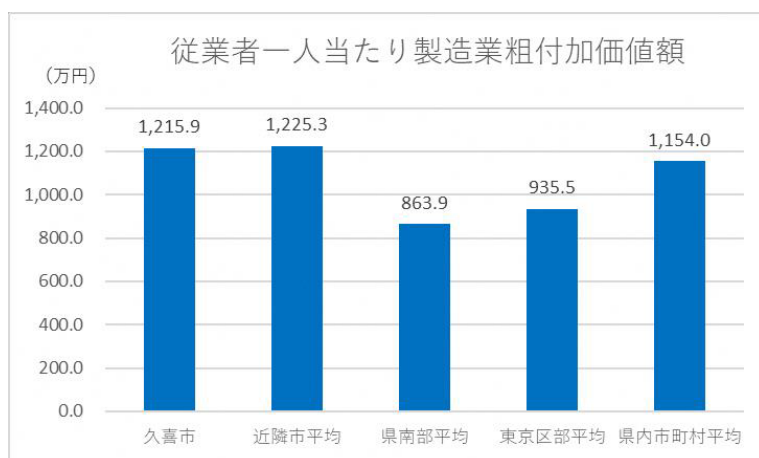


久喜市の千人当たり交通事故件数は、最も多く、3.89件である。最も少ないのは東京区部で、1.93件である。



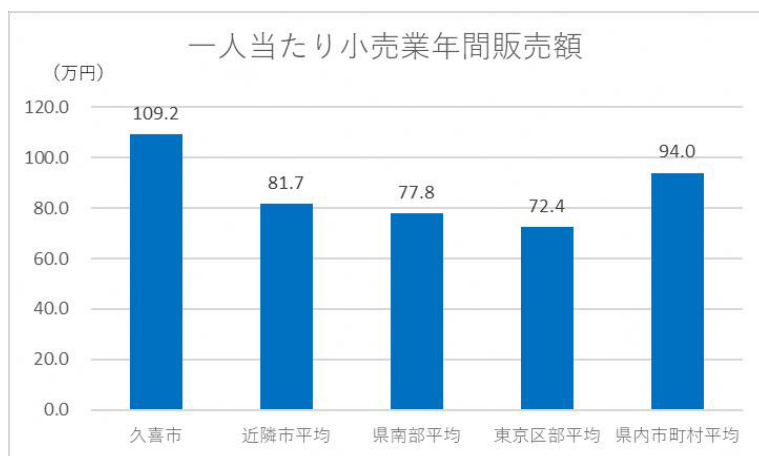
## 【産業・経済】

従業者一人当たり製造業粗付加価値額（経済産業省「工業統計調査」、2017年）



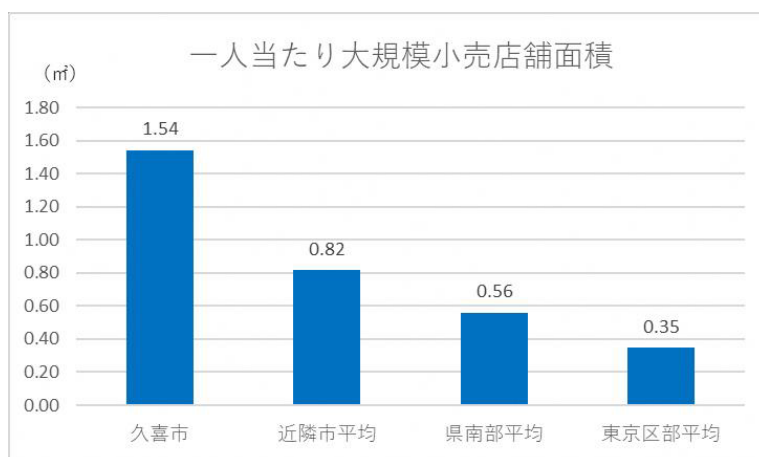
久喜市の従業者一人当たり製造業粗付加価値額は、近隣市と同様に高く、1,215.9万円である。最も低い県南部と比べて、大きな差がある。

一人当たり小売業年間販売額（総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」、2015年）



久喜市の一人当たり小売業年間販売額は、最も多く、109.2万円である。最も少ないのは東京区部で、72.4万円である。

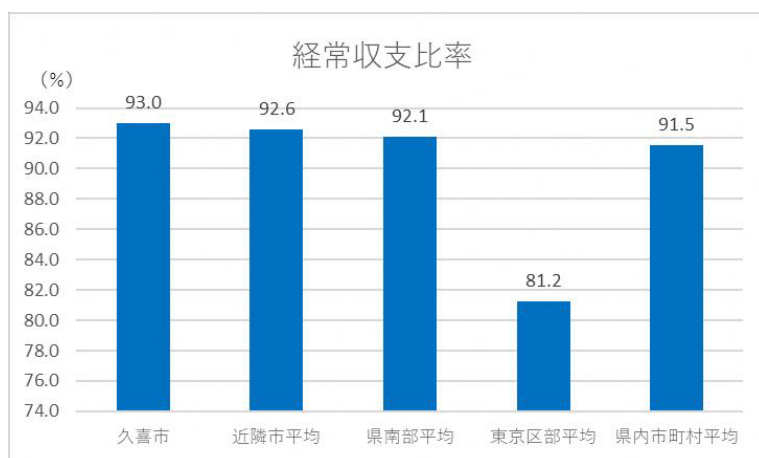
一人当たり大規模小売店舗面積（東洋経済「全国大型小売店総覧」、2019年）



久喜市の一人当たり大規模小売店舗面積は、突出して広く、1.54㎡である。最も小さい東京区部の約5倍である。

## 【行政・財政】

経常収支比率（総務省「市区町村別決算状況調」、「都道府県決算状況調」、2018年度）

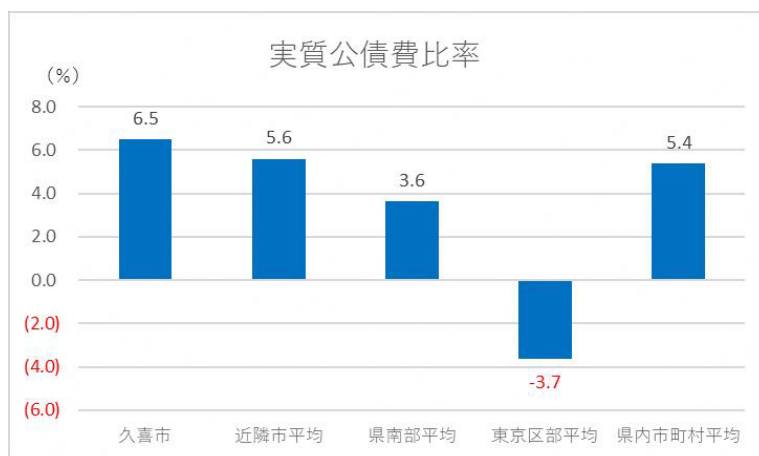


久喜市の経常収支率は、近隣市と同等の 93.0% である。

これは、固定的な支出が多く、独自の事業に使えるお金が少ないことを示している。

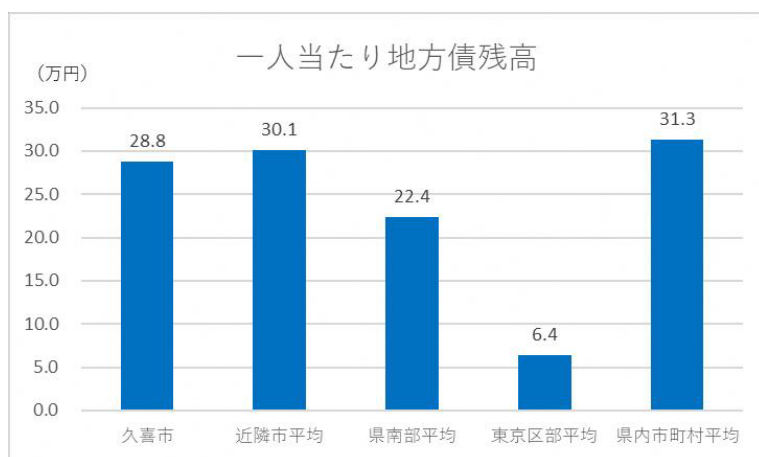
最も低い東京区部は 81.2% である。

実質公債費比率（総務省「市区町村別決算状況調」、「都道府県決算状況調」、2018年度）



久喜市の実質公債費率（実質的な借金返済額（公債）が財政規模に占める割合）は、最も高く、6.5% である。最も低いのは東京区部の -3.7% で、黒字を意味している。

一人当たり地方債残高（総務省「市区町村別決算状況調」、2018年度）



久喜市の一人当たり地方債残高は、近隣市に次いで多く、28.8 万円である。最も低いのは東京区部の 6.4 万円である。